

希望坂(北中だより)

第19号 令和2年3月24日

みやき町立北茂安中学校 校長 森田 直樹

学校教育目標

「知性・感性・耐性」を
自らたかめる生徒の育成

〒849-0113 みやき町大字東尾 4435

TEL:0942-89-2008 Fax:89-2079



◆◇感染症対策・送る会・プレ卒業式・そして卒業式◆◇

新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、総理大臣による臨時休業の要請により、3月2日(月)、急遽3年生を送る会とプレ卒業式を行いました。卒業式は在校生なしでの開催を余儀なくされ、この日が3学年全員がそろって北茂安中学校で生活する最後の日となったからです。

3年生を送る会では、新生徒会役員が3年生に感謝の言葉を送り、卒業する3年生の3年間の映像を振り返りながら、その成長に思いをはせました。準備もままならない中での実施でしたが、在校生の心のこもった企画に卒業生の笑顔が見られたひとときでした。

プレ卒業式では、本番と一緒に歌うはずだった式歌「旅立ちの日に」を全員で合唱できました。また、本番ではできない「在校生代表の送辞」も驚崎生徒会長によってしっかり行われ、本校の伝統を培ってきた3年生への熱い思いが伝えられました。

その中で以下のような話をしました。

「今日のプレ卒業式は、7日の本番のための練習も兼ねていますが、本番には在校生は出席しないこととなりました。したがって、在校生の皆さんが3年生と一緒に歌う校歌も式歌も今日限りです。ぜひ、様々な思いを込めて、心をつ一つにして、この時間を過ごしてください。

式歌と言えば、校舎の廊下に響いていた3年生の『仰げば尊し』が印象的です。『3年生はよく歌う』、これは、本校に連綿と受け継がれた良い伝統です。それを後輩に受け継いでくれることを楽しみにしています。

[COVID19]これは、俗に新型コロナウイルスの正式名称です。このウイルスの蔓延を防ぐために、明日からの臨時休業があります。生徒の皆さんには、どうかその目的をしっかり理解して生活してもらいたいと思います。それと同時に、感染症に関するネットなどにある情報は正しいのか、考える力も身に付けてほしいとも思います。

ウイルスは熱に弱いから、お湯を飲んでいればいいとか、トイレトペーパーがなくなるとか、根拠のない話を信じて行動しないようにしたいものです。また、マスクを買い占めて転売するとか、危機に乗じた利己的な行動は極めて悪質だと認識してほしいと願います。

今言ったことは、本校教育目標の『知性』と『感性』にかかわることです。今後も、かしこく、そして人に優しくあってほしいと思います。」

第73回卒業証書授与式は、卒業生と保護者、それに2名の教育委員様と職員で挙行了しました。時間短縮のため代表者のみへの授与も考えられましたが、あえて一人ひとりに手渡しをしてほぼ予定時間に終わることができました。そして、第二部で歌うはずだった「大地讃頌」を式歌に加え、卒業生は母校を巣立つ思いを美しい歌に託して伝えてくれました。

式では、卒業生に以下のような話をしました。

「本日、卒業の日を迎えた卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。

校長として、全校生徒の担任として皆さんの授業風景を最初に見たときは、反応に乏しく活気のないもので、本校を担う最高学年として大丈夫だろうか、と心配したものでした。しかし、それは杞憂でした。みなさんの成長は著しく、対話的な学び、協働的な学びを体現し、とても活気のある温かな学習ができていましたね。相手の考えを尊重し、自分の思いを率直に述べる姿に頼もしさを感じました。(中略)



北茂安に生まれ、起業の神様とよばれたリコー三愛グループの創始者、市村清氏は、三愛主義を説かれました。三愛とは「人を愛し、国を愛し、勤めを愛す」ことです。市村氏について書かれた本を読みますと、市村氏は本当に人を愛されています。昭和40年、リコーが倒産の危機を迎えたとき、社員のため自ら銀行に何度も頭を下げに行かれました。また、会社再建の最中にもかかわらず、常識を覆して社員の給与を20%もあげられたとのこと。社員を家族のように考え、それに答えた社員との会社一丸の踏ん張り、3年計画の2年目で、なんと当時の50億円の借金を返済したとのこと。



私たちも、友人・親・恩師など、自分に関わる多くの人を大切に、たとえ逆境にあっても人との絆をもって、乗り越えて行きたいものです。

さて、先日3年生から頂いた手紙やカードの中に、『外国のことをたくさん聞きたいです。』とリクエストがありましたので、一つだけ話します。

私がロンドン日本人学校に勤務していた時のことです。私は、どうしてもギリシャに行って、その文明の足跡をこの目で見たいと思っていました。それで、春休みにギリシャのクレタ島に出かけました。クレタ島の博物館で古代のイルカの絵などを見て、公園で一息ついている時、金色のひげを生やしたおじさんが近づいてきたのです。マケドニアから来たというそのおじさんは英語で『自分は今からこの博物館に入りたいので、自分の荷物を見てほしい。』と言うのです。海外で荷物を手元から話すことは、盗まれることを意味します。私はとてもその依頼が信じられなかったので、なぜなのか問いかけました。そうすると、マケドニアの医者であるおじさんは、『君は日本人だろう。日本人は信頼できる。』と答えてきました。私はその時ほど日本人であることを誇りに思ったことはありません。そして、それまでにマケドニアおじさんに関わってこられた、信頼できる日本人の先輩方に感謝の気持ちが沸きました。



思うに、私たちは日本人という看板をぶら下げたサンドイッチマンではないでしょうか。皆さんにも、今後、佐賀県出身とか北茂安出身といった看板が意味を持つときがあるかもしれません。その時、この北茂安中で学んだことは、胸を張って誇りにしていいと、私は断言します。市村清氏は、『国を愛す』と言われましたが、皆さんには、故郷を愛し誇りをもって、この母なる大地の一つとしての北茂安中を巣立ってほしいと考えます。」

◆◇部活動再開◆◇

県知事や町の教育委員会の通知により、25日から部活動を再開します。ただし、感染防止に十分留意して行います。

- ・密集を避け換気に配慮する。
- ・練習後の手洗いを必ず行う。

顧問の指導の下、無理のない活動を心がけていきます。

◆◇今後の予定◆◇

<4月>

- 6日(月)赴任式・始業式
- 7日(火)給食あり
- 8日(水)入学式準備・給食なし
- 9日(木)入学式・給食なし
- 15日(水)交通教室
- 17日(金)発育測定
- 20日(月)家庭訪問(～24日)



◆◇令和元年度修了式・辞任式◆◇

今年度の修了式と辞任式は、感染防止のため、本日臨時登校日に放送によって行いました。話の一部は以下の通りです。

「この状況は学校にとっても皆さんにとっても、ピンチでありマイナスな状況です。ただし、ピンチの裏には必ずチャンスが隠れています。臨時休業の間、これまでの自分の生活を見直して、自分で一日の時間割を作って生活した人もいますね。また、まとまった時間にじっくりと本を読んだり、自分の将来設計を考えたり、筋肉や体幹のトレーニングに励んだりした人もいることでしょう。そんなチャンスをまだ生かし切れていない人は、もう少し春休みがありますので、そのなかで、**自律的な生活**を行ってください。「**ピンチの裏にチャンスあり**」です。

4月6日始業式には、2年生は3年生へ1年生は2年生へステップアップします。

それぞれの学年にふさわしい「知性・感性・耐性」を携えて、新学期を迎えることを楽しみにしています。

<辞任される先生方>

- 樋口勝弘先生、圓城寺久先生、
- 森 宜幹先生、江口麻祐子先生、山岡貴秀先生、秋吉開斗先生
- 原口 文先生、川崎真実先生(司書補) 牛島洋子先生(給食室)
- 宮原 恵先生(給食室)、ギフトィ・アフエキ先生(ALT)



先生方、本当に有難うございました。お世話になりました。